

帯広病院 21-4111
 白樺医院 38-3500
 ケアセンター白樺 41-1165
 白樺在宅総合センター 41-1167

十勝勤医協 友の会ニュース

医療法人 十勝勤労者医療協会

帯広市西9条南11丁目1番地

0155-21-4718

発行責任者 今野 光昭

URL: <http://www.tokachi-kin-ikyo.or.jp>
 E-mail: soshiki@tokachi-kin-ikyo.or.jp

過去を知り、 平和を守ることの大切さを共有し、 その共感の輪を広げよう — 平和学校報告

北海道民医連（北海道民主医療機関連合会）が実施している「平和学校」に参加したケアセンター白樺の介護主任・山上登さんが1月31日、報告会を行いました。その内容を紹介します。法人の社保委員会が主催。

平和とは何か

「札幌市内の戦跡・強制連行（強制労働）の跡を巡る」と題して講演した札幌郷土を掘る会の世話人の原田勇さんのお話。「平和とは何か」、それは「平和な社会＝戦争のない社会」ではないということ。差別や偏見そして何よりも人権無視がない社会こそが本来の意味での「平和な社会」です。そして「戦争とは

何か」を考えるにあたり、単に戦争の惨状を語るだけでなく、加害・被害・抵抗の側面から見ることがあり、戦争を進める国の社会構造や教育の面から見ることが必要です。

奴隷労働と虐殺

昭和11年に北海道で陸軍特別大演習が行われることになり、その視察にくる天皇が滞在する施設への電気供給のため、藻岩発電所が建設されることになりました。その建設中に過酷な労働環境のもと様々な理由で、朝鮮人5人を含む38人の労働者が犠牲になりました。その中の出来事として



報告する山上 登さん



藻岩発電所

「中ノ沢リンチ・虐殺」「北の沢青山通り生き埋め」事件があります。仕事で失敗したという理由で、30代と40代の2人が五寸釘を打ち込んだ垂木で何度も頭を殴られ殺されました（中ノ沢リンチ・虐殺事件）。
 トイレから逃げ出した「奴隷」労働者（当時タコ（他雇）と呼ばれていた）があいにく捕まり、殴り殺されました。別の者は隧道造りの埋め戻し作業中に足を滑らせて下に落ち、容赦なく上から土をかぶせられ生き埋めとなり、そのまま死亡。また、別の労働者は請負工事の組長の下で、4、5人の棒頭からリンチされ、のびていた「タコ」は埋め戻し場所の一番下に投げ込まれました（北の沢青山生き埋め事件）。
 また、昭和10年3月の朝、現場に向かう5人の労働者が

過酷な労働のつらさから逃げ出し、近くの裏山に隠れていました。しかしあまりの寒さから抜け出しとて捕まってしまう。そのうち2人が裸にされ、肩に紐をかけられ後ろで結ばれ、凍ってザラザラの固い道を飯場まで引きずられ、肉は剥がれて血がだらだら落ち、痛みを耐えられず泣いていたという出来事もありました。身の毛のよだつ出来事が存在し、引きずられて泣いていたその2人は朝鮮人とのことでした。
 日本人として恥ずかしい、人間のやることではないと強く感じました。

「2面につづく」



藻岩犠牲者の碑

健康診断を受けましょう！

特定健診・後期高齢者健診・大腸がん検診の2024年度の期間が3月末までです。友の会会員さんや世話人さんでまだうけていない方はいませんか？病気の早期発見・早期治療が大切です。自分自身の健康はもちろん、お知り合い、お隣・近所の方々にも声をおかけください。健康を守る運動を広げましょう。医療機関の収益にもつながります。

聴診器

▼「高額療養費制度」とは、健康保険法等に基づき、日本において保健医療機関の窓口で支払う医療費を一定額以下に留める、公的医療保健制度における給付の一つです。施行開始が1973年（昭和48年）10月で、半世紀以上の歴史があります。さて政府は、増え続ける社会保障費の伸びを抑えるためという名目で、2025年度当初予算案で、「高額療養費制度」を見直して、自己負担限度額の上限の引き上げを盛り込みました。政府案では、2025年8月に所得区分ごとに2・7・15%引き上げ、さらに、2026年8月と2027年8月にも区分を細分化して引き上げるとし、最終的には、中間的な収入の人の場合で、現行から5万8500円増の月13万8600円となります。こうした、患者が負担する月ごとの医療費の限度額を定める「高額療養費制度」の上限引き上げを政府が検討していることを受け、患者さんからは強い懸念や不安の声があがっています。特に、抗がん剤などの高額な治療を長期にわたって受けざるをえないがん患者さんにとっては、大変深刻な問題です。全国がん患者団体連合会（全がん連）が1月17・19日に緊急でおこなった「高額療養費制度の負担上限引き上げ反対に関するアンケート」は3日間という短期間でしたが、患者さんやその家族、医療従事者ら計3,623人から反対の声が多数寄せられています。「高額療養費制度」自己負担限度額の上限引き上げに反対の声を、ただちに大きくする必要がありま

（栗）

平和学校のフィールドワークでは、実際に藻岩水力発電所を見学しました。3本の太いパイプが通っている発電所から5分ほど北に歩くと、犠牲者の碑が立っています。この巨大な発電所を作るために多くの日本人や朝鮮人労働者が犠牲になったことを想像すると、胸が締め付けられる思いです。

次の平和活動へ つなげる

そのほか、手稲鉾山選鉱場

の見学や、北海道被爆者協会の大村一夫理事長の被爆体験、北海道パレスチナ医療奉仕団の武田美優さんの活動紹介の話などを聞き、まだ知られていない歴史や、報道されていない事実・壮絶な出来事が数多くあるのではないかと感じました。絵を描いたり、アーティストと共同したり、少しずつ輪を広げるなど、色々な平和運動の仕方がある。自分が目にした事、耳にした事を多くの人と共有、共感し、次の平和活動につなげていきたいと思っています。

開西友の会

「ふまねっと」で楽しく交流

毎月第1と第3土曜日の9時30分から11時30分の時間、西10号会館で「ふまねっと」を実施しています。会場の都合で月一回になる時もあります。

よ来い」「汽車」「うらしまたろう」の歌に合わせたステップで足取りも軽く、楽しく終えることができました。

開西友の会「ふまねっと」では、年2〜3回、会館近くのレストランで昼食会をしています。これも大切な交流の場で、皆さんも楽しみにしています。

【開西友の会 石澤 英子】

2月1日のこの日は、5名の参加でした。ラジオ体操の後、ふまねっとと初級ステップ、中級ステップ、上級ステップの中から選んだステップの後、今回は節分が近かったので「まめまき」の歌に合わせたステップに挑戦しました。

前半は「鬼はそと、福はうち」と全員ができた時には拍手も！「鬼を追い出すこともできたね！」と水分補給と休憩時間でも盛り上がりしました。後半は「春



帯広病院

ACLS（二次救命処置）

研修しました

1月30日(木)午後からACLS（二次救命処置）研修会を開催しました。今回は地域医療研修で十勝に来てくださったっている研修医の岡崎先生に講師をお願いしました。

「夜間帯で人手の少ない病棟」という想定で、院内コリルから心臓マッサージ、AED（自動体外式除細動器）の取り扱いなどを学びました。岡崎先生からは「いざという時に対処できるように必要な物品がどこにあるのか、患者情報、DNAR（心肺蘇生を行わないこと）の有無、心臓マッサージのやり方、AEDの取り扱いを日頃から確認しておくことが大事」との話に研修会に参加した全員が真剣

な表情になっていました。何かあったときにもあせらず迅速に行動できるよう、これからも職員一同精進していききたいと思います。

【帯広病院・診療技術

山崎 真嗣】



ACLS 学習会の様子

デイサービス すずらん

研修医と 楽しく交流

研修医の岡崎先生は、2月3日(月)には、デイサービスすずらんで研修されました。

多くの利用者さんにご自分から話しかけ、手を差し伸べて、たくさん話をして交流していただきました。利用者さんも興奮、「とっても素敵な先生でした！」と大喜びでした。

すずらん職員からの「介護福祉士の役割」や「デイサービスの役割」についての説明にも、介護保険制度の矛盾や問題についてきちんと理解し



体操して楽しむ様子

ていただいていると頼もしい。岡崎先生自身も、利用者さんと楽しく体操などをして楽しんでおられました。

【デイサービスすずらん

村上 あゆみ】

十勝勤医協の通所サービスのご案内

利用者さん大募集

- * 1日型通所リハビリ
＜老人保健施設ケアセンター白樺(帯広市)＞
サービス提供時間 9時00分～15時30分
- * 短時間型通所リハビリ
＜老人保健施設ケアセンター白樺(帯広市)＞
サービス提供時間 ①10時00分～11時30分
②14時00分～15時30分
- * 通所介護
＜デイサービスほのか(帯広市)・
デイサービスすずらん(音更町)＞
サービス提供時間 9時30分～15時40分

お申し込み・お問い合わせ

- ・老人保健施設ケアセンター白樺 ☎0155-41-1165
- ・デイサービスほのか ☎0155-41-4165
- ・デイサービスすずらん ☎0155-30-5161
- ・居宅介護支援事業所白樺 ☎0155-41-1167

デイサービス ほのか

新年会で カルタ取り

今月は新年初めの行事という事で「新年会」と題し利用者様とゲーム等を通して楽しみました！カルタ取りから始まり、だるま落としでは普段の体操で使っている棒を使って行いだるまを上手に落とそうと頑張りましたが、まあ崩れる。ただ上手な利用者様は力使わずに2〜3個抜かれており、『力』ではなく『技』ということを学びました。流石！そのあとに皆でほのか特製おみくじを皆で引いて新年の運試しを行いました！中には大吉を引かれた方もおり、幸先の良い年はじめを迎えることが出来ました♪

(すっかり凶をひいた私はこれから運氣が上がるしかありませんねっ！)



カルタで遊ぶ

デイサービスほのかでは日常的なレクレーションはもちろんな行事では季節感を味わえるような内容をスタッフみんなで協力をして企画・運営をしています。今年の冬はインフルエンザにコロナウイルスが猛威を振るい、皆さま体調管理に苦慮されているところではありますが、在宅生活を送る上で『ほんのちよつとの非日常』を味わえるような、楽しみのある施設を利用者様と一緒に作り上げていきたいと思っています！今年はどうな楽しいことをしましょうか??

【デイサービスほのか

山田 巴】

帯広病院の役割

シリーズ⑪

安心して療養していただける 病棟をめざして

病棟師長 進藤 智美



病棟は一般病床5床、地域包括病床46床でしたが、2月から全ての病床が地域包括病床となり、地域包括ケア病棟となりました。病棟の機能としては、今までと変わらず外来からの入院をお受けしたり、地域の機関病院やクリニックからの紹介や、地域のケアマネージャーさんや御家族からのレスパイト入院（在宅介護を担っている家族の休

養や息抜きの目的、急な冠婚葬祭等で介護者が不在になる時の短期入院）をお受けしています。

入院されるのは、急性期の病気を治療して帰られる方、リハビリを行って自宅に帰られる方、いろいろな事情で御自宅に戻れず施設へ入所される方、人生の最期を病院で迎える方と様々です。高齢化の波は当院でも免れることなく、入院される

方、75歳以上の後期高齢者世代、70歳代の方はむしろ若い方で、90歳代の方も多くいらつしやいます。

病棟では、医師、看護師、ヘルパー、メッセンジャー、リハビリ技師、検査技師、栄養士、薬剤師



など沢山の職種のスタッフがいます。体調の管理や療養相談はもちろんのこと、薬の管理や検査、美味しい治療食の提供や、日常的な療養生活の支援など、患者さんに元気になるっていただくこと、最期の時間を穏やかに過ごしていただけるようにと奮闘しています。

2020年からコロナウイルス感染が流行し、感染対策を講じたことで御家族や面会者の方が自由に病棟に立ち入れない状況となりました。この5年間のうちアウトブレイクも経験し、患者さんのいのちを守るために面会を制限するなどの対策を行いました。長期で入院している患者さん、御家族にとっては辛い時間となつてしまったと思います。5類へと移行し、感染に留意をしながら少しずつ制限の緩和を行っている最中で、時間や人数の制約は完全には払拭

できてはいませんが、終末期の患者さんであれば病室での面会も出来るようになりまし、この2月からは入院時に短時間ではありますが御家族が病室に入ることも再開することとなりました。

先日は病棟の看護師が退院された患者さんの御自宅に訪問をさせていた

だき、病院では見られなかった満面の笑顔で過ごされている患者さんの様子を伺うことが出来ました。療養する上で御家族の存在が大きいことを再確認出来た機会でした。少しづつですが、入院していても患者さんと御家族が交流できて、安心して療養していただける病棟をめざしています。

研修医・岡崎達哉先生からのごあいさつ



当初5週間の予定で研修を組んだのですが、途中でインフルエンザになってしまったり、大雪で家から出られなくなってしまうたりで実質4週間になってしまいました。勤医協中央病院研修医2年目の岡崎達哉です。

十勝勤医協での実習は、ほとんどは病院の外で行うものでした。普段やっているような医療とは少し離れて、老健やデイサービスなどの介護福祉、友の会活動への参加、更別・中札内国保診療所での研修など様々なことを経験させていただきました。今回の研修を通して、医療と介護の連携や、介護保険制度の問題点など様々な視点から学ぶ良い機会となり、非常に充実した日々を過ごすことができました。

ワカサギ釣りやご飯屋さんを巡ったり、少し足を延ばして襟裳岬まで行って日高を周って帰ってきたりと休日にも十勝・日高を満喫することができました。またこの名前を見るのがありましたら、その際は何卒よろしくお願いいたします。

寄稿

「病棟の役割」に感動！

2月号の「病棟の役割」心強く読みました。十勝勤医協の立ち上げに力を尽くしてくださった方々の老後をしつかり支えてくださっているのを感じます。

1年ほど前、友の会の方が入院されました。最愛の奥様を亡くされ、一人になり、気力も食欲もなく体力は落ちる一方、帯広病院に入院となりました。お見舞いも時節柄で

つていました。ところが、2か月ほどで帰ってこられたのです。お顔の色はつやつや、にこにこ表情も明るく、元気そのもののお顔です。

食事は宅配給食が届くように手配されていました。デイサービスにも出かけるようになっていました。今もにこにこ元気なお過ごしです。病棟、すごいぜ！先輩はまた大感動です。

【栄友の会
本川 栄子さん、元職員】



あなたと民医連をつなぐ月刊誌

いつでも元気

MIN-IREN

2025 3月号 380円

好評発売中

祝400号 元気でつながろう！

けんこう教室 作業療法士の仕事(上)

お金をかけない健康法

湯守 岳温泉

まちなかカラ 愛知県東栄町

食と健康 免疫力向上ご飯

発行＝㈱保健医療研究所 〒113-0034 東京都文京区湯島2-4-4 平和と労働センター8階 電話 03(5842)5656 FAX 03(5842)5657

頭の体操

次の□に漢字を入れて熟語をつくり、□の漢字を並べ替え○の中に入れて、答えを完成させてください。

出題者はペンネーム・あこちゃん（帯広市）です。

【ヒント】 さあ、広げましょう

【答 え】
○ ○ ○ ○

(漢字でご記入ください)

【応募方法】

解答とお名前 住所、電話番号をハガキかメールで左記へお送りください。「友の会ニュース」へのご感想、ご意見などを添えて頂けましたら、可能な限り紙面でご紹介いたします。（匿名希望の方はペンネーム可）

【宛 先】

〒080-0001 大阪市西9条南1丁目

友の会ニュース編集部

○メール

soshiki@tokachi-kin-

iky0.or.jp

賞品

抽選で10人の方に、千円分の図書カードをお送りします。

読者の声

新春特別号、瀬川理事長の記事を読ませていただき、40年前に帯広に私たちの病院「十勝勤医協」ができた。これで病気になっても、なんの心配もないと、飛び上がるほど嬉しかったことが、懐かしく思い出されます。ついでにこんなことも……40年前、あく私40歳だったのね、戻りたいです。

帯広市 若月 玲子さん

つを読みました。十勝勤医協が設立されてことしが40年目なのですね。長い間、民医連綱領の「無差別平等の医療と福祉の実現を」めざして頑張ってきたことに敬意を表します。私も一人の患者として長い間お世話にな

【締め切り】

3月20日(当日消印有効)。発表は第492号

【第488号の当選者】

答えは「小春日和」でした。
応募総数104通、正解者
103通の中から抽選により、
次の20人の方が当選しま
した。(敬称略)

健康相談会のご案内

友の会	テ ー マ	日 時	場 所	担当・連絡先
新緑友の会	骨を丈夫にするコツ(骨粗しょう症への対策)	3/26(水)14時半～	白樺医院	瘡師 光枝 090-7650-5517

友の会行事案内

友の会	内 容	日 時	時 間	場 所	担当・連絡先
西 南	ふまねっと	3 / 6 (木) 3 / 13 (木)	10時30分	中央福祉センター	麻生 恵子 22-1613
西 帯	ふまねっと	3 / 11、18、25 (火)	10時～12時	西福祉センター	野坂 潤子 080-4046-2729
開 西	カラオケ	3 / 14 (金)	11時～	ドン・キホーテうたや	岡本 顕 090-6446-5521
	卓球	3 / 3、10、17、24、31 (月)	13時～	コスモス福祉センター	
	ふまねっと	3 / 1 (土) 3 / 15 (土)	9 時30分～	西10号会館	石澤 英子 090-5988-6400
上土幌	ふまねっと	3 / 11 (火) 3 / 12 (水)	10時30分	ふれあいプラザ	山本 和子 01564-2-3089
	ふまねっと	3 / 8 (土)	10時30分	7 区北地区集会場	
	ふまねっと	3 / 10 (月)	10時30分	11区西地区集会場	
	ふまねっと	3 / 13 (木) か 3 / 20 (木)	10時30分	南地区集会場	
	健康広場	3 / 18 (火)	10時～11時	ふれあいプラザ	
音更北	ふまねっと	3 / 8 (土)	10時～11時半	音更総合福祉センター	酒井 知子 42-3387
芽 室	笑いヨガ	3 / 4 (火) 3 / 18 (火)	13時30分～	芽室中央公民館	梅津 美政 62-2859

※日時については変更になる場合がございます。詳しくは担当連絡先までお問い合わせください。
※参加費がかかる場合がございますので、ご了承下さい。

※参加費がかかる場合がございますので、ご了承下さい。

りました。感謝。また、山本正俊さんの「十勝に憲法九条の碑を」の呼びかけに賛同します。

芽室町 中村 廣治さん

瀬川理事長の年頭のご挨拶で、富を持つ者が益々裕福になり、貧しい者は生きることさえ困難になる。こんな世の中でいいのにか！怒りを感じます。昨年、被団協がノーベル平和賞を受賞し、一生かけた核廃絶の叫びが実り

ました。嬉しいニュースの反面、ウクライナ、ガザの戦地では子どもの命が毎日失われています。一日も早く戦争が終わることを祈るばかりです。

11月17日のとかちプラザでの、
 医師・中村哲氏のドキュメンタ
 リー映画を観ました。「百の診
 療所より一本の用水路を」と荒
 野に希望の火をともした中村氏

の「武力で平和を守れない」の
固い意志で活動した35年間の軌
跡に改めて感動しました。

帯広市 岡部 あきさん

いつも読者の声を読ませてもらい、ありがとうございます。私も今年75歳になり、体調を心配しつつも新しい年を迎えようとしています。元気で頑張らなくては！友の会ニュースを楽しみにしています。

帯広市 香川 慶子さん

介護の現場から”等”十勝に
憲法九条の碑を“大賛成です。
皆様のご活躍をお祈りしていま
す。本年もよろしくお願いま
す。

中札内村 安増 京子さん

各友の会連絡先

[illegible]